

「ごみ」ってなあに？－土にかえるもの、かえらないもの－
季節：いつでも

(学習のねらい)

どんなものがごみになっているかに気づき、「ごみ」と「ごみが増えていること」によって起こる問題」について関心を持ってもらう。

場所：学校、近くの公園、
室内

時間：2～3時間

対象：小学校低学年～

●用意するもの

ワークシート、筆記用具、
事例となるもの（イラスト、新聞記事などが
あれば、イメージがわかりやすい）

学習のすすめ方

- ①校庭や公園に「落ちているもの」を子どもたちに各自集めてもらいます。
*「ごみ」と言わず「落ちているもの」とします。
- ②みんなが拾ってきた「落ちていたもの」を集めて、同じものと思われるもので分類します。
- ③それぞれの「落ちていたもの」をそのままにしておいたらどうなるか、みんなで作ります。また、どれが「ごみ」と思うかも考えてもらいます。
- ④その内容を発表してもらい、特に「土にかえるもの」「土にかえらないもの」の視点で先生が補足して説明します。
- ⑤人工的な「土にかえらないもの」をどうしたらよいか、みんなでお話し合います。



【ワークシート】

実施日 年 月 日	グループ名	(氏名)
-----------	-------	-------

- 1 どんなものが落ちていましたか。落ちていたものを記入し、それが土にかえるものか、かえらずにごみになってしまうと思うか、あてはまるほうに○印をつけましょう。

落ちていたもの	土にかえると思うもの	土にかえらないと思うもの

- 2 土にかえらないものはどうすればいいでしょう。

--

ぼく・わたしの回りのごみチェック

季節：いつでも

(学習のねらい)

くらしの中でどんなごみが出てくるか、また、それらのごみがどのように分別され、処分されているのかを学びます。

場所：学校、家

時間：4～6時間

対象：小学校中学年

●用意するもの

地域のごみ分別表、ワークシート「ごみチェックカード1、2、3」

学習のすすめ方

- ①家の中でどんなごみが出るか調べ、ワークシート1に記入します。シートに記入するときはどんなごみか分かるように記入します。
例：お菓子の箱、チラシの紙
- ②グループで話し合い、シート2に記入します。
- ③地域のごみ分別表を見て、シート2に記入されたごみが、どれだけ分別されているか記入します。
- ④それぞれに分別されたごみが、どのように処分されるか調べます。
調べ方：市町の資料を利用する。市町の担当窓口で電話して調べる。市町の担当者に来てもらい話を聞く。
- ⑤④で調べた結果、ごみとして処分されるものを、そうならないようにするためにはどうしたらいいか話し合い、シート3に記入します。

【ステップ3「つぎの一步」】

学習の進め方の④を参考にして近くの市町のごみ処理の状況を調べ、自分が住んでいる市町との違いを調べ、いい点、悪い点を整理しましょう。



【ワークシート1】

実施日 年 月 日	グループ名	(氏名)
-----------	-------	-------

家の中でどんなごみが出たか記入しましょう。10種類以上書きましょう

例：お菓子の箱、ちらしの紙、しょうゆのビンなど

	出たごみの種類
1	
2	
3	
4	
5	
6	
7	
8	
9	
10	
11	
12	
13	
14	
15	
16	
17	
18	
19	
20	

【ワークシート3】

実施日 年 月 日	グループ名 (氏名)
-----------	-------------

①ごみを調べて感じたこと、気づいたことを書きましょう。

②ごみとして処分されているものを、ごみにしないためにはどうすればいいのでしょうか。考えてみましょう。

ごみを減らすアイデアを考えよう！ーゴミビンゴー
季節：いつでも

(学習のねらい)

くらしの中で出るごみを減らすためにどうしたらいいかを、兵庫県の5Rの取り組みなどを参考にしながら、実践するためのきっかけとします。

場所：学校、室内
時間：2～3時間
対象：小学校高学年～

●用意するもの

ワークシート1 (アイデアを書き留めておくもの)、ワークシート2「ビンゴカード」(3×3マスにあらかじめ1～9までの数字を記入)、筆記用具、油性ペン、模造紙、短冊

学習のすすめ方

- ①まず最初に、ごみを減らすポイント「5R」について説明をします。(指導者)
- ②次に、くらしの中で出るごみを思い浮かべ、それを減らすために自分たちにできそうなごみ減量作戦をグループで考え、5Rに分けて整理します。「ワークシート1」
※「わたしの回りのごみチェック」の結果を参考にしてもいいでしょう。
- ③ビンゴカードを1人1枚ずつ配布します。(このとき初めて、このゲームがビンゴゲームであることを話します。)
「ワークシート2」
- ③②で書いたアイデアから九つ選んで好きな順番でのビンゴカードに記入します。
- ⑤1人一つずつアイデアを発表し、発表されたアイデアが自分のカードにあれば○印をつけます。(読み上げられたアイデアが同じかどうか分からないときは、お互いに質問して相手の考えを確かめましょう。発表者も○印をつけます。)
- ⑥縦・横・斜めのいずれかに○印が三つ並んだら、大きな声で「ビンゴ」といってもらいます。
- ⑦状況を見ながら、適当な時に(半分くらいビンゴになれば)ゲームを終了します。
- ⑧発表されなかったアイデアを参加者に発表してもらいます。(発表されなかったアイデアの中に新しい発見があるかもしれません。)



- ⑨友達から出たものも含めて、自分が今日から取り組むごみ減量作戦を1つ選び、短冊にその内容と自分の名前を記入します。短冊は、できれば教室の中に貼り出します。

【ステップ4「さらに」】

- ①グループで、ごみを減らすための標語やポスターを作るのもよいでしょう。
- ②家庭のごみ、学校のごみ、町のごみなどテーマを絞ってもよいでしょう。
- ③ごみ以外のエネルギー問題、水質問題などで行ってもよいでしょう。

【実施上の工夫・留意点】

- ・アイデアを考えるときに、社会システムの変革よりも「自分たちで取り組めること」に焦点をあて、日常生活に近い意見交換を行った方が効果的です。



【一口メモ】

ごみを減らすポイント・・・5R（下の5つの単語の頭文字）

- ・ **refuse**（リフューズ）レジ袋、包装紙など、ごみになりそうなものを断りましょう。
- ・ **reduce**（リデュース）つめかえ商品を選ぶ、買う量を控えるなど、ごみとして出す物を少なくしましょう。
- ・ **reuse**（リユース）びん、ベビーベッドなど、くりかえして使いましょう。
- ・ **repair**（リペア）テレビ、くつ、かさ、おもちゃなど、こわれても、修理して使いましょう。
- ・ **recycle**（リサイクル）ごみを分別して出し、新しく生まれ変わったものを使いましょう。

リサイクルとは、例えば牛乳パックをきれいにしてリサイクルに出すというだけでなく、それからできた再生紙のトイレットペーパーを利用することまで含みます。（ペットボトル再生衣服、食品トレー再生文房具、100%再生紙のノートなどの利用）

※「5R生活」とは、この五つの「R」を、私たちの日常生活や事業活動の中で当たり前のように実践しているライフスタイルのことです。

(参考) 宝塚市「おもちゃの診療所」紹介
1974年から、毎月第1日曜日の午後、宝塚市内
の「宝塚NPO活動センター」で、子どもたちの持
ち込む様々なおもちゃを、ボランティアの「おも
ちゃドクター」たちが修理してくれます。
(代表：工業デザイナー 川戸昭三氏)



【ワークシート1】

実施日 年 月 日	グループ名	(氏名)
-----------	-------	-------

1 グループで話し合っ、自分たちでできそうなごみ減量作戦を「5R」に分けて整理してみましょう。それぞれに三つ以上のアイデアを書いて下さい。

・リフューズ（ごみになりそうなものを断りましょう！）

--

・リデュース（ごみとして出す物を少なくしましょう！）

--

・リユース（くりかえして使いましょう！）

--

・リペア（こわれても、修理して使いましょう！）

--

・リサイクル（ごみを分別して出し、新しく生まれ変わったものを使いましょう！）

--

【ワークシート2】

実施日 年 月 日	グループ名 (氏名)
-----------	-------------

1 ごみを減らすアイデアを1マスに1個書きましょう。

1	2	3
4	5	6
7	8	9

2 自分が思いつかなかった友だちのアイデアを書いておきましょう。

--